



令和2年11月2日

【照会先】

栃木労働局職業安定部職業安定課

職業安定課長 青山 繁

地方労働市場情報官 鈴木 雅美

電話 028-610-3555

FAX 028-637-8609

報道関係者各位

令和元年度におけるハローワークの職業紹介 業務に関する総合評価の結果が出ました

栃木労働局（局長 藤浪 竜哉）は、ハローワークのマッチング機能（職業紹介機能）の強化を図るために実施してきた令和元年度のハローワーク総合評価結果を公表します。

＜栃木県内各ハローワークの総合評価結果＞

「良好な成果」・・・5安定所（栃木所、佐野所、真岡所、大田原所、日光所）

「標準的な成果」・・・6安定所（宇都宮所、鹿沼所、足利所、矢板所、小山所、黒磯所）

各ハローワークの「就職支援業務報告（令和元年度）」別添参照

※ 総合評価は、全国ハローワーク（434所）に共通する①就職件数②求人充足件数③雇用保険受給者早期再就職件数等を必須項目とし、これに加えて地域の特性等を踏まえハローワークごとに選択した重点的取組業務を目標に掲げ、達成状況を評価・改善するものです。

全国ハローワークをグループごとに総点数の平均値を基準とし、平均値以上を類型1（非常に良好な成果）・類型2（良好な成果）、平均値未満を類型3（標準的な成果）・類型4（成果向上のため計画的な取組が必要）に区分しています。

栃木労働局及び各ハローワークでは、令和元年度の実績と評価結果を踏まえ、令和2年度の目標達成に向け、引き続き就職支援に取り組み、中長期的な業務の質の向上を図るとともに、評価の結果や業務改善の状況等について、利用者にわかりやすく公表することにより、ハローワークに対する信頼感の向上に努めます。

ハローワーク宇都宮 就職支援業務報告(令和元年度)

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

所重点項目においては、「充足数」の目標達成を最重要と考え、特に正社員求人の充足に重点を置いて進めることとし、求人者支援員と職業相談窓口担当者がペアを組んでチームを作り、事業所訪問等を行うことで正確な求人ニーズを把握し、該当する求職者を紹介する「ジャストマッチングの取組（所独自）」を実施した。訪問事業所数は146社、求人件数298件のうち42.3%にあたる126件が充足。求人数では、472人のうち34.5%にあたる163人が充足に結びついた。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

人材確保を強く希望する事業所に対する支援が不足していたため、求人条件緩和の提案を積極的に行うとともに、職場見学を兼ねたツアー型面接会による能動的マッチングを実施し、企業のプレゼンテーション、職場見学、労働条件等の確認の場を、求人者・求職者に同時に提供することによりの確なマッチングを図り、求人者サービスを実施した。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

専門窓口（生涯現役支援窓口、人材確保対策コーナー、職業訓練窓口、マザーズコーナー、わかもの支援コーナー）間の連携が弱く、個々で事業に取り組んでいたことから、専門窓口間の連携を強化し、チーム支援や求人充足会議、ジャストマッチング等それぞれの取組において必要な情報共有を図り、求人者・求職者の両面から支援を実施できる体制を整える。

（4）その他業務運営についての分析等

管内の自治体や商工会議所等と連携し、連名による勧奨文を発出するなど正社員求人の確保に取り組むことで、求人倍率1倍台を維持することができた。今後も引き続き全国平均を維持出来るよう正社員求人の確保に取り組んでいく。

2 総合評価（※）

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 （受理地）	雇用保険受給者 早期再就職件数	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	生活保護受 給者等の 就職件数	障害者の就 職件数	マザーズハロ ーワーク事業 における担当 者制による就 職支援を受け た重点支援対 象者の就職 率	正社員求人 数	正社員就職 件数	人材不足分 野の就職件 数	生涯現役支 援窓口での 65 歳以上の 就職件数
実績	7525	7976	1976	42.3%	48.9%	463	634	94.4%	30442	3533	1752	122
目標	8234	8495	1874	45.2%	50.6%	326	590	92.7%	33785	4027	1766	115
目標達成率	91%	93%	105%	93%	96%	142%	107%	101%	90%	87%	99%	106%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク鹿沼 就職支援業務報告(令和元年度)

1 所長による分析（業務運営の総括）

(1) 特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、「就職件数」に特に重点をおいて取組を実施した。具体的な取組として、求職者担当者制によるきめ細やかな支援を行い、求職者へマッチングした求人情報等の提供を行ったことで、就職に結びつけることができた。また、求人情報提供として、超フレッシュ求人情報や週替わり求人情報（月4回：正社員対象求人2回、面接対象求人（書類選考なし）、高齢者対象求人）の提供を行うことで、求職者の就労意欲を高める取組を行った。さらに、新規求職申込者における中高年齢者の割合が増加していることから、45歳以上を対象者とした合同面接会やミニ面接会を開催し、就職件数の確保を図った。

所の重点指標として、鹿沼市雇用対策協定の事業計画目標にも掲げている「生活保護受給者等の就職件数」に重点をおいた取り組みを実施した。就労困難者（生活保護受給者、生活困窮者、児童扶養手当受給者等）への就労支援を鹿沼地域生活保護受給者等就労自立業協議会の福祉及び雇用部門の各機関と連携を図り、就労支援の目標を共有し、効果的・効率的な就労支援となるよう取り組んだ。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、職員の資質向上や育成を図る観点から、若手職員等に対して雇用関係助成金研修を実施し、職業相談・職業相談時の確認・留意事項について知識・技能の向上を図った。また、職業紹介資質向上のための職員による研修を実施した。さらに、職業相談・求人受理時に専門的な知識を要する労働関係法令に関して、鹿沼労働基準監督署の職員を講師とした労働法研修会を開催し、知識の向上を図った。

(2) サービス改善・業務改善を図った事項

鹿沼市雇用・移住・定住促進協議会で作成した求人事業所PRビデオ（1社2分程度で、ドローンによる会社全景や社長、担当者による自社製品の案内、仕事内容の説明、作業現場の動画等）を、雇用保険説明会前の待ち時間を活用して放映し、雇用保険受給者の早期就職へ繋げるとともに、所内のインフォメーションディスプレイで、毎週月・水・金曜日の14時～15時の1時間放映し、求職者の就労意欲を図った。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

令和2年1月からのハローワークシステム刷新に伴い、求職者の相談窓口の利用促進、潜在的求職者をいかにハローワークに来所してもらうかが課題である。事務所内に掲示しているリフレッシュ求人情報等、ハローワークに来所すれば得られる求人情報やミニ面接会等のイ

ベント情報等の周知及び充実等、更なるサービスの向上を行い、求職者の相談窓口の利用増加を図り、就職件数の増加へ繋げる。

(4) その他業務運営についての分析等

鹿沼市との雇用対策協定運営協議会において、若者の雇用対策推進事業として合同面接会の開催や高校等を交えた就職情報交換会を開催し、管内事業所への就職に結びつくよう取り組む。また、就職氷河期世代の就職支援として、就職氷河期世代を対象とした求人の確保や助成金等について事業所に周知を図る等、就職に結びつく取り組みを図っていくことが重要と考えている。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	生活保護 受給者等の 就職件数	正社員 求人数	正社員 就職件数		
実績	1,314	1,241	337	39.5%	54.9%	94	4,338	638		
目標	1,380	1,295	365	43.3%	55.8%	85	4,525	680		
目標達成率	95%	95%	92%	91%	98%	110%	95%	93%		

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク栃木 就職支援業務報告(令和元年度)

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、「求人充足の促進」及び「就職の促進」を最重要と考え、①求人充足サービス体制の整備、②求人票以外の求人事業所情報の収集とその活用、③正社員求人の確保と正社員就職件数の増加対策に具体的に取り組んだ。

①については、求人者支援員を中心とした早期求人充足のための体制を構築し、収集した求人票以上の事業所情報を速やかに職業相談部門の全職員に対して提供して共有し、担当者制による個別支援を実施している求職者に対して情報の提供や応募勧奨を行った。さらに求職者が当該求人を希望しなかった場合はその理由をアンケート調査して、求人者にフィードバックし、求人条件の改善を勧奨する取組みを実施した。

②については、積極的な事業所訪問を実施し、画像情報を含めた求人票以上の事業所情報の収集を行うほか、より一層のPRを希望する求人事業所に庁舎玄関ホールの掲示板を貸し出すことによる幅広い広報を実施して、意欲的な求人事業所の取り込みを行うとともに、来所する求職者に対するPRを実施した。

③については、管内の地方公共団体及び商工会議所との共催事業として、正社員求人を中心とした「栃木市・壬生町 中高年者合同就職面接会」（令和元年7月4日）及び「栃木市・壬生町 若年者合同就職面接会」（令和元年11月8日）を開催し、特に「中高年者合同就職面接会」は、参加求職者98名のうち22人の就職が決定（就職率22.4%）するなど大きな効果があった。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

上記（1）を効果的に実施するためには、職員等の資質向上が重要と考え、所長等が講師となった全職員を対象とした所内研修を実施した。

- ・ハローワークで必要な相談スキル向上研修
- ・担当者制実施スキル向上研修（キャリアコンサルティング技能士である職員を講師としたロールプレイング研修）
- ・相談記録スキル向上研修（効率的、効果的な職業相談実施に係る研修）

また、庁舎に掲示するリーフレット等の広報媒体については、事業主向けや求職者向け等のカテゴリで分けすることで、当所の利用者の利便性と効果向上を図った。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

昨年度の新規求職申込件数のうち、55歳以上の求職者が32.1%と、県全体の数字（28.2%）と比較しても多い状況にあり、この状況は今年度においても継続していることから、昨年度新設した「生涯現役支援窓口」にて実施する高齢者向けセミナーや高齢者の採用意欲が高い求人

事業所によるミニ面接会について、新型コロナウイルス感染症の感染状況を勘案しながら開催するとともに、事業所訪問等の機会を捉えて多くの事業所に対して高齢者の積極的採用の働きかけを行っていく。

また、ハローワークシステムの刷新に係る求人者・求職者マイページの利用案内とともに、窓口を利用する求職者に対して担当者制や当所独自の「ステップアップセミナー」等により、就職に向けた個々の課題解決に必要な支援を実施していく。

(4) その他業務運営についての分析等

管内主力産業が製造業であることに留意しつつ、新型コロナウイルス感染症の影響を注視した時宜を得た対応を実施していく。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	障害者の就職 件数	正社員求人数	正社員就職件 数	生涯現役支援 窓口での 65 歳 以上の就職件 数
実績	1856	1939	667	45.5%	49.2%	174	5900	871	58
目標	1798	1871	652	47.9%	49.2%	174	6350	895	43
目標達成率	103%	103%	102%	94%	100%	100%	92%	97%	134%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク佐野 就職支援業務報告(令和元年度)

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、「充足に向けたマッチング強化」を最重要事項と考え、以下の施策に重点的に取り組んだ。求人部門において、事業所訪問時に把握した情報を、所独自の「事業所情報シート」に取りまとめ、画像情報と共に職業相談部門全体で情報を共有した。事業所情報シートを作成した 75 件に対して、紹介件数 222 件、充足件数 62 人の実績となり、求人票以上の情報を共有することでマッチングに繋がった。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、職業紹介部門全体の資質向上を図るため、職業相談に関して統計システムを利用することで、担当ごとの実績や紹介状況を見える化・共有化し現状の把握や業務へのモチベーションの向上を図った。

また、職員のスキルアップを目的とした所内研修を年 3 回（助成金・職業訓練・求人関係）実施するなど、様々な機会を通じて職員の資質向上に取り組んだ。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

事業主支援サービスの向上を図るため、求人充足会議に関する内容を再検討した上で、相談部門と求人部門の担当者双方による合同担当者制を実施。充足に向けた取組として、事業所訪問による事業所ニーズの的確な把握、求職者目線での求人記載内容の検討・提案等、事業所へのフォローアップを行うことで、マッチングの強化を図った。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

新規求職者に占める在職者数の割合が、全体の 1 / 3 程度と高い数値で推移し、大半が 44 歳以下の若年層となっている。この若年層の中には、今の仕事にそれほど不満を抱いていないが他の会社に興味がある層と、不本意ながら不安定就労・無業の状況にある層とに二極化している傾向があるため、今後は特に後者を中心とした 就職氷河期世代の不安定就労者・無業者に対する就職支援について、一人ひとりの課題に応じ

て、正社員就職の実現に向けたきめ細かな就職支援を実施して参りたい。

(4) その他業務運営についての分析等

令和元年10月の台風19号の影響により、市内の河川が決壊し、市内計2700棟が床上・床下浸水した。管内では、一時4000人以上の避難者が出る等甚大な被害が発生し、国から「台風19号の激甚災害指定地域」に指定された。これらによる業務への影響も大きく、特に令和元年10月・11月は、新規求職件数・就職件数・求人数・充足数等の各指標が、前年比で軒並み大きく減少した。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	学卒ジョブサポーター の支援による正社員 就職件数	正社員求人数	正社員就職件 数		
実績	1680	1404	511	47.9%	51.7%	263	3944	821		
目標	1650	1370	476	50.0%	53.9%	210	4215	805		
目標達成率	101%	102%	107%	95%	95%	125%	93%	101%		

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク足利 就職支援業務報告(令和元年度)

1 所長による分析（業務運営の総括）

（１）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、「求人充足」を最重要と考え、特に、正社員求人数の確保とそれに対する正社員就職件数の向上が地域の活性化に不可欠とし重点的に取り組んだ。紹介部門にも求人担当者制を取り入れたことで、求人に対する充足の意識を高めた。

求人受理の際に採用基準等を聴取し、求職者へのマッチングを実施するとともに、職業相談部門から提出された意見や求職者からの声を基に求人充足会議を開催。会議を経て充足可能性が高まる事項について、求人者へ条件見直しの提案を行い、条件緩和や条件UPへと結びつけた。また、ミニ説明会（面接会）を積極的に開催したことで、年間延べ104事業所、159名の求職者が参加し、紹介件数43件、就職件数15件の求人充足が図れた。

（２）サービス改善・業務改善を図った事項

雇用保険受給者の認定日における職業相談時間を確保するため、認定を行う際の対応窓口順番を見直し、認定時間の設定時間を増やすことで、待ち時間の短縮や職業相談のための一定の時間確保を図った。

（３）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

ミニ説明会（面接会）は、求人者からの要望も多く、求人の詳細を伝え応募を検討する前段階の良い機会にもなっていることから、求人者・求職者サービスの両面からも継続していくが、新型コロナウイルスの影響も考慮したうえで求人の充足を図っていく。実施したマッチング状況については、事業所向けに資料等を作成することで、条件緩和・UPを目指す環境作りを整えていく。

（４）その他業務運営についての分析等

足利労政事務所・足利市・佐野市・佐野公共職業安定所合同の「足利・佐野合同就職面接会」は、年2回実施していたが、次年度は対象者・時期を検討したうえで、1回の開催で実施予定。

2 総合評価（※）

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	生活保護受給 者等の就職件 数	障害者の就職 件数	正社員求人数	正社員就職件 数	
実績	1778	1750	533	44.1%	52.7%	91	111	5390	859	
目標	1770	1768	533	44.6%	53.8%	85	111	5944	910	
目標達成率	100%	98%	100%	98%	97%	107%	100%	90%	94%	

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク真岡 就職支援業務報告(令和元年度)

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、雇用情勢の好転に伴う人手不足の状況を踏まえ、求人に対する担当者制の実施の目標達成及びマッチング機能の強化等による求人者サービスを特に最重要課題と考え、来所勧奨型紹介、提案型紹介及びミニ面接会の開催など積極的に取り組んだ。特にミニ面接会については、会社説明会とセットしたものを含め 38 回開催し、26 件（うち正社員 14 件）の採用に結びつけることができた。

また、求人充足サービスのため職業相談部門の職員が事業所への工場見学を行った。完成品や作業工程、職場の雰囲気、作業環境等の情報を収集するとともに、採用担当者等と意見交換を行うことによって、職業相談の際に求職者に対して提案型紹介や来所勧奨型紹介へと結びつけることができた。その他、職場見学と面接をセットにしたツアー型面接会を求人者へアピールすることで、積極的な活用を図った。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

【求人充足サービス】

求人充足の観点から、求職者がハローワークの求人票のどこを重視して職業選択を行うかをアンケートにより実施した結果を基に、求人者へフィードバックすることで、求職者の立場に立った分かり易い求人の作成や雇用管理指導に活用した。雇用情勢が好転する中であって、人手不足が深刻化していることから、管内の地方自治体や商工会議所・商工会と連携し、創意工夫を凝らした就職面接会（障害者面接会含む）を積極的に実施した。地域の特産品である“いちご”の生産者からの要望に応え、J A（農業協同組合）と共催により、就職面接会を実施し成果が得られた。

【高齢者の就職促進】

高年齢者の就職促進を図るため、高年齢者に特化した求人情報コーナーを設置し、就職促進に取り組んだ。

【早期再就職の喚起】

職業相談や雇用保険受給者初回講習及び雇用保険失業認定などのあらゆる機会において、職業相談部門の職員に加え、雇用保険部門の職員による就職支援セミナーの積極的な参加勧奨を図った。

【求職者支援サービスの取組】

職業相談窓口での応募書類添削指導や個別面談対策のセミナー等を実施するなどの業務改善を図った。

【地方自治体との連携強化】

求職者が減少する中であって、各地方自治体で実施していた就職合同面接会を合同で実施し業務の効率化を図った。将来を見据えた地域活性化として、地方自治体の要望により“子育て中のママによる就職前準備セミナー”を開催した。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

新規求職者の減少に伴い担当者制による職業相談を充実し、提案型紹介の推進など、職業相談における質の向上に取り組む。そのため、職員個々の資質向上のため、引き続き、職業相談部門全員による事業所訪問（ツアー型面接会）を行い、事業内容や求人票以外の情報、さらに、採用担当者等との意見交換により事業所ニーズを詳細に把握するなどして、マッチングの成果につながる求人充足サービスの取組を強化する。

(4) その他業務運営についての分析等

求人充足サービスのための「ツアー型面接会」「ミニ面接会」は一定の成果が見られたことから、内容等を充実するなどして引き続き取り組む。また、その際には可能な限りハローワーク職員も同行し、求人票には記載のない情報を積極的に収集するなどして、求人事業所の事業内容や求人内容への理解を深め、その得られた知識等は求職者との職業相談の場面等で活用を図り、積極的な求人充足に取り組む。

また事業所訪問の際には、積極的な画像情報収集するなどして、求職者に対する“見える化”に取り組みマッチングの強化を図る。

さらに、求人充足サービスの一環として一定の成果のあったミニ面接会は、高年齢者層に特化した面接会を設けるなど創意工夫して積極的に開催する。

2 総合評価（※）

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	生活保護受給 者等の就職件 数	正社員求人数	正社員就職件 数		
実績	1,744	1,587	528	45.3%	49.8%	117	5,169	796		
目標	1,774	1,593	465	47.3%	50.8%	85	5,890	820		
目標達成率	98%	99%	113%	95%	98%	137%	87%	97%		

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク矢板 就職支援業務報告(令和元年度)

1 所長による分析（業務運営の総括）

（１）特に重点的に取り組んだ事項

- ・当所は重点項目を「正社員求人数」「正社員就職件数」及び「充足件数」とし、目標達成のため、独自の正社員実現キャンペーン期間を設け、正社員希望求職者を対象に「アンケート」を実施した。その結果、正社員求人数は目標を100.0%達成でき、就職件数についても、目標104.3%を達成することができた。
- ・その他、ミニ面接会を年間31回（うち見学会付きミニ面接会7回）開催、求人者支援員による求人者担当者制を93件選定し、来所勧奨の支援を実施したことで72件の充足につながった。

（２）サービス改善・業務改善を図った事項

- ・令和2年1月からのシステム刷新後については、来所者端末の操作についてリーフレット等の整備・工夫を行い、フロアナビゲーターによる操作方法の支援や、利用者の窓口誘導を積極的に行った。その結果、1月から3月までの相談件数については前年度より1.3%増加しており、新規求職者数が減少している一方で相談件数が増加に転じた背景には、求人検索のみの来所者を積極的に窓口へ誘導した結果ととらえ、引き続き、窓口での個別支援につなげたい。
- ・求人情報誌発行については、月3回発行から月2回の発行に見直しを図った。その分、求職者アンケートの分析等を行うことで求職者ニーズをとらえ、正社員の求人確保に努めたことで、正社員求人件数の目標達成することができた。

（３）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

- ・課題である充足対策について、ミニ面接会や見学会付き面接会は、ミスマッチを防止する点などからも求人者・求職者ともに効果的なメニューであるため、引き続き実施に向けた働きかけを積極的に行っていく。
- ・雇用保険受給者の早期再就職については、認定日の職業相談を継続し、早期の再就職支援を行う。

（４）その他業務運営についての分析等

- ・矢板市やさくら市とは、大量離職時における就職支援についての連携は迅速に実施することができ、求職者の雇用の安定に努めることができ

た。

・職員・相談員の資質向上としての業務研修については、職業相談部門と雇用保険部門との連携を図るため、給付担当職員より雇用保険制度の理解促進に係る研修を実施した。また、職業相談部門の窓口職員・相談員を対象に大田原労働基準監督署に講師を依頼し、働き方改革としての労働基準法等の研修を実施した。今後は、求職者への支援としての応募書類作成・面接支援のための研修を実施予定である。

2 総合評価（※）

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	障害者の就職 件数	正社員求人数	正社員就職件 数		
実績	1,283	1,021	331	46.2%	55.7%	72	2,992	645		
目標	1,230	1,047	317	51.2%	58.1%	56	2,990	670		
目標達成率	104%	97%	104%	90%	95%	128%	100%	96%		

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク大田原 就職支援業務報告(令和元年度)

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、就職件数、充足件数及び雇用保険の早期再就職件数主要3項目の目標達成に向けて、求人事業主に対する応募したくなる求人票の作成サポート、求職者に対する応募書類の添削、模擬面接支援、雇用保険受給者に対する早期再就職のための支援メニューの活用等を図りながら、各々の目標達成に向け取り組んだ。

さらに、中高年齢層の求職者割合が増加していることから、本年度開設した生涯現役支援窓口の支援対象者に対する就職数の目標達成を最重要と位置づけ、特に重点的に進めることとし、対象となる求職者について支援窓口への案内・誘導を図るとともに、個々の職業経験などをふまえ、求人とのマッチングに取り組んだ。また、生涯現役窓口対象の求人を限定にしたミニ面接会を、栃木県で実施する就職準備講座と組み合わせて開催したところ、多数の参加及び就職数に繋がった。

【65歳以上の安定所紹介就職・・・目標値 43件 就職実績 70件 達成率162.8%】

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

多岐にわたる業務を行ううえで、日頃の疑義の解消や改善、提案を始め、新たな企画検討・情報共有等、職業相談部門が一体となって課題解消が図れる「(意見の)持ち寄り業務会合」を実施し、所内業務について改善を図りながら、成果向上を目指した。様々な意見を出し合う中で自らの意見が業務に反映される場合もあり、職員のモチベーション向上にも繋がっている。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

求職者担当制について、職業相談部門が一体となり取り組むことで支援サービスも充実し、求職者の選択の幅が広がるとともに待ち時間も減少した。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

令和元年度の結果については、「良好な成果」評価となった。主要3項目の就職件数、充足件数及び雇用保険受給者の早期再就職件数については全て目標を達成したが、重点指標のうち、正社員の求人数及び正社員の就職件数のいずれも目標に至らなかったことから、令和2年度においてはこの二つの指標への取組を強化する。さらに、例年は、管内の自治体や他所と連携したマッチング等に繋がるイベントを実施していたが、令和2年度においては、コロナ禍を踏まえた新たな「求職者担当制」及び「求人担当者制」を的確かつ効果的に進めていく。

(4) その他業務運営についての分析等

当所管内は、米作、鶏卵等の一次産業と電気機械器具、医療用機械器具、レンズ製品等を中心とした製造業、そして西部地区に大規模な温泉地域を抱える観光関連産業とバランス良い産業構成となっている。最近では、小売り、飲食店等の第3次産業が増加傾向で推移しているが、求職者は第2次産業就業者または就業経験者が多く、求人の多数を占める第3次産業の勤務条件(就業時間、休日等)が合わずに、職種や条件でのミスマッチが大きいのが現状である。このため、求人者、求職者双方へ労働市場の状況説明を継続的に行い、条件緩和や意識改革を図っていく必要がある。

また、地域によってミスマッチも多く見られる。地理的に当所まで遠い地域は求職者の利用も少なく、このような地域での求人開拓を積極的に進めることで地域の潜在的な求職者をハローワークの利用者に取り込み、人材不足で困っている求人事業主へ誘導していくことが喫緊の課題であると考えている。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	障害者の 就職件数	正社員求人数	正社員 就職件数	生涯現役支援窓口で の 65 歳以上の就職 件数	
実績	2,123	2,019	619	46.0%	54.4%	141	4,229	872	70	
目標	2,047	2,004	490	47.7%	55.7%	128	4,910	990	43	
目標達成率	103%	100%	126%	96%	97%	110%	86%	88%	162%	

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク小山 就職支援業務報告(令和元年度)

1 所長による分析（業務運営の総括）

（１）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、雇用保険受給者早期再就職を最重点と捉え取組むこととした。雇用保険説明会及び初回講習会において、ハローワーク支援メニューをはじめ早期再就職のメリット等の説明を行い、認定日には雇用保険受給者全員に対して職業相談を実施し、希望に沿った求人情報提供を積極的に行った。

また、職業相談部門及び専門援助部門における求職者担当者制による来所勧奨を重点的に行うとともに、求人部門との連携により求職者ニーズを把握・共有し、マッチングに向けた求人条件緩和を行い早期再就職を図った。

当所における雇用保険受給者早期再就職件数の目標 874 件に対し、実績 927 件であり目標達成となった。

（２）サービス改善・業務改善を図った事項

小山安定所の付属施設「小山わかものハローワーク」において学卒業業務を行っていたが、平成 31 年 4 月 1 日から小山所本所へ学卒業業務を移管し、事業所からの一般求人と学卒求人の申し込みを一体的に行うなど利便性の向上を図った。

また、窓口体制整備を図ることで学卒業業務である出張相談及び就職支援セミナー等の内容充実を図った。

（３）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

システム刷新に伴いフロアーナビゲーターを配置。パソコン操作が不慣れな利用者に対し入力項目について分かりやすい説明を行うことで操作時間を短縮し、混雑時の利用者待ち時間の緩和を図る。

また、インターネットを活用した求職登録及び求人申し込み、更にマイページによる求職・求人登録について積極的に周知し、利用者の利便性の向上を図る。

（４）その他業務運営についての分析等

学生に対する就職支援として管内自治体等と連携した企業説明会や面接会を開催しているが、企業及び学生の参加者が減少傾向にある。管内の魅力ある企業情報を周知するため管内自治体と連携を図り「小山地区企業ガイド」（PR 版）を継続的に作成していく。

2 総合評価（※）

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	生活保護 受給者等 の就職件数	公的職業訓練 修了3か月後の 就職件数	正社員 求人数	正社員 就職件数	
実績	3, 147件	2, 716件	927件	40. 6%	50. 4%	121件	166件	12, 119件	1, 612件	
目標	3, 480件	3, 094件	874件	42. 8%	52. 0%	85件	100件	13, 320件	1, 783件	
目標達成率	90%	87%	106%	94%	96%	142%	166%	90%	90%	

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク日光 就職支援業務報告(令和元年度)

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、利用者の満足度を高めることが就職数・充足数等の目標達成に繋がると考え、求職者の希望に添った提案型の情報提供や、担当者制による個々のニーズに応じたきめ細やかな職業相談・職業紹介を行った。また、ピックアップした求人の作業環境や作業風景、使用する機械の写真等の詳細な情報収集のための事業所訪問強化の取り組みを行っており、収集した情報は求人票と並べて掲示したことで早期紹介・早期充足に繋がった。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、中長期的な職員の育成を図る観点から、働き方改革に対応するため労働基準監督官を講師に各種労働法の研修と、外国人労働者の新たな在留資格に対応した研修を実施した。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

ハローワークで提供しているサービスメニューをより広く認識していただくため、サービスメニューを示したリーフレットを作成し新規登録者に配布し相談窓口の利用促進を図った。その結果、履歴書の添削や模擬面接の利用者が増加し就職数の増加に繋がった。

また、求人情報提供端末の利用のみでお帰りになる方に対し、より詳細な情報提供が行えるよう「声かけ文言集」を作成し、声かけにより職業相談窓口の利用の促進を図った。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

雇用保険受給者の早期再就職促進について、就職件数は増加傾向にありながら早期就職件数は目標に届かなかった。早期再就職のメリットの周知と、より積極的な求人情報提供等の再就職支援を強化し、早期からきめ細やかな支援を実施する。

（4）その他業務運営についての分析等

令和元年末頃から求職者は増加傾向にあるが、新型コロナウイルスの影響により管内の主要産業となる観光産業や製造業・運送業などからの求人は減少しており、雇用環境が悪化する中で希望の就職ができるよう求人の確保や情報提供の強化を図る。

2 総合評価（※）

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	生活保護受給 者等の就職件 数	正社員求人数	正社員就職件 数		
実績	1,398	1,154	262	43.7%	57.1%	62	3,275	658		
目標	1,300	1,118	280	46.7%	60.5%	43	3,230	610		
目標達成率	107%	103%	93%	93%	94%	144%	101%	107%		

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク黒磯 就職支援業務報告(令和元年度)

1 所長による分析（業務運営の総括）

（１）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、「就職件数」の目標達成を最重要と考え、「ミニ面接会」を重点的に実施した。

ミニ面接会については、毎月第２・４火曜日に実施することを原則として２９回開催し、延べ４６人が就職につながる大きな成果を生み出すことができた。この取組は、事業所からも事業継続・拡充を要望され、求職者のみならず求人者に対しても効果的なマッチングの取り組みとなった。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、職員研修として職業相談担当者の資質向上及び見識を深めるため、求人事業所の訪問を積極的に実施した。この取組により、仕事内容の詳細な確認や、採用基準や経営方針などの把握を重点的に行った。

また、取組で得た情報の共有を図ることを目的とした求人充足会議を行うことで、職業相談時の情報提供や求人要件緩和指導、新たな求人受理時にも有効活用を図った。

（２）サービス改善・業務改善を図った事項

求職者は求人事業所の詳細情報に期待を持ってハローワークを利用しているが、これに応えるため「見れば分かる！！フォト&求人票コーナー」の設置を行い、求人票に求人事業所の画像情報をプラスして掲示することで、求職者の興味を高め、応募につなげることを目的とし、マッチング促進に一定の成果を得た。

（３）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

「ミニ面接会」は求人者・求職者の両面で有効な取組となった。

今後も新たな求人事業所の開拓ツールとして活用を図るため、事業所の選定基準を明確化したうえで実施（参加勧奨）していく。

また、求職者ニーズに応えるため、多様な業種や職種を確保することに加え、より多くの参加求職者を確保するため広く周知する必要があることから、近隣のハローワークと連携した計画的な開催を図る。

「見れば分かる！！フォト&求人票コーナー」については、効果的な取組として継続し、より多くの事業所画像情報の収集を図り、全ての求人事業所においても画像情報が閲覧できるよう整備を進めたい。

(4) その他業務運営についての分析等

職業訓練制度について、当所管内には栃木県立県北産業技術専門校があることから職業訓練校と連携し、職業訓練制度及び科目の周知を図るとともに、求職者ニーズに合った適正な受講勧奨を図るなど求職者支援の充実に取り組む。

2 総合評価（※）

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	ハローワークの職業 紹介により正規雇用 に結びついたフリータ ー等の就職件数	正社員求人数	正社員就職数		
実績	1,459	1,411	355	39.8%	56.9%	173	3,608	658		
目標	1,600	1,493	393	42.9%	57.1%	140	3,930	670		
目標達成率	91%	94%	90%	92%	99%	123%	91%	98%		

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率